

CASBEE\_Sapporo2014v1.0  
 (仮称)NREG札幌ビル新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.0  
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		基本設計段階		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	W	G	S	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>										
<b>Q1 室内環境</b>										
<b>1 音環境</b>										
1.1 騒音						3.8	0.15	3.2	1.00	3.4
1.2 遮音						3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能					開口部遮音性能T-2	5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	0.20	3.0	0.20	
<b>2 温熱環境</b>										
2.1 室温制御						2.6	0.35	2.8	1.00	2.7
1 室温					ホテル客室: 夏25℃、冬24℃	3.0	0.50	3.5	0.50	
2 外皮性能		W				3.0	0.38	4.0	0.57	
3 ソーン別制御性						3.0	0.25	3.0	0.43	
2.2 湿度制御						3.0	0.37	-	-	
2.3 空調方式						1.0	0.20	1.0	0.20	
						3.0	0.30	3.0	0.30	
<b>3 光・視環境</b>										
3.1 昼光利用						3.0	0.25	3.6	1.00	3.4
1 昼光率					風除室9.4%、ホテル客室T1-1.4%	4.1	0.31	4.2	0.30	
2 方位別開口						5.0	0.58	5.0	0.60	
3 昼光利用設備		W				3.0	0.42	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						2.0	0.29	4.0	0.30	
1 昼光制御		W			ホテル客室底、ブラインドで制御	2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.14	3.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.26	3.0	0.25	
<b>4 空気質環境</b>										
4.1 発生源対策						4.3	0.25	4.6	1.00	4.4
1 化学汚染物質					F☆☆☆☆を採用かつ、VOCを含まない製品であることを確認して使用	5.0	0.50	5.0	0.63	
2 気体汚染対策						5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気						4.0	0.30	4.0	0.38	
1 換気量					ほぼ全ての居室で1.4倍以上の換気量を確保	5.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能					自然換気有効開口面積が居室面積の1/15以上	3.0	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						3.0	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視						3.0	0.02	-	-	
2 喫煙の制御						3.0	0.98	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>										
<b>1 機能性</b>										
1.1 機能性・使いやすさ						2.5	0.40	2.2	1.00	2.3
1 広さ・収納性						3.0	0.40	2.0	0.60	
2 高度情報通信設備対応						3.0	-	1.0	0.50	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	3.0	0.50	
1.2 心理性・快適性						1.0	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観					宿泊部天井高2.6m	1.0	0.01	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						2.0	0.01	-	-	
3 内装計画						1.0	0.97	1.0	0.50	
1.3 維持管理						3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計					防汚性の高い建材の採用	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
3 維持管理業務						-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>										
2.1 耐震・免震						3.0	0.30	-	-	3.0
1 耐震性						3.0	0.50	-	-	
2 免震・制振性能						3.0	0.80	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		W				2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		W				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		W				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		W			3種がB以上、Eは不使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		W				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備					耐震クラスA	3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20	-	-	
<b>3 対応性・更新性</b>										
3.1 空間のゆとり						3.0	0.30	2.2	1.00	2.5
1 階高のゆとり					物販店階高5.05m	4.6	0.01	1.4	0.50	
2 空間の形状・自由さ					物販店壁長さ比率:0.28	5.0	0.60	1.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり						4.0	0.40	2.0	0.40	
3.3 設備の更新性						3.0	0.01	3.0	0.50	
1 空調配管の更新性						3.0	0.98	-	-	
2 給排水管の更新性						3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性						3.0	0.20	-	-	
4 通信配線の更新性						3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性						3.0	0.10	-	-	
6 バックアップスペースの確保						3.0	0.20	-	-	

CASBEE\_Sapporo2014v1.0  
 (仮称)NREG札幌ビル新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.0  
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

スコアシート		基本設計段階			重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理				
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>									
1 生物環境の保全と創出		G			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		G			3.0	0.40	-	-	3.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>									
3.1 地域性への配慮・快適性の向上			S		2.5	0.30	-	-	2.5
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			2.0	0.50	-	-	
					3.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>									
<b>LR1 エネルギー</b>									
1 建物外皮の熱負荷抑制									
	W			BPI=0.86	4.4	0.20	-	-	4.4
2 自然エネルギー利用									
	W				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化									
集合住宅以外の評価(3a,3b)	W			BEI 非住宅 - 住宅(専有部) -	3.3	0.50	-	-	3.3
集合住宅の評価(3c)	W			BEI=0.96	3.3	1.00	-	-	
					-	-	-	-	
4 効率的運用									
集合住宅以外の評価					3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 モニタリング	W				3.0	1.00	-	-	
4.2 運用管理体制	W				3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価					3.0	0.50	-	-	
4.1 モニタリング	W				3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制	W				3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>									
1 水資源保護									
1.1 節水					3.0	0.20	-	-	3.0
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.60	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.70	-	-	
					3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減									
2.1 材料使用量の削減	W				2.8	0.60	-	-	2.8
2.2 既存建築躯体等の継続使用	W				2.0	0.10	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	W			-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	W			再生クラッシャーラン(アスファルト舗装)	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	W				3.0	0.20	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	W				2.0	0.10	-	-	
					3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避									
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.20	-	-	3.0
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.30	-	-	
1 消火剤	W				3.0	0.70	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	W				-	-	-	-	
3 冷媒	W				3.0	0.50	-	-	
					3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>									
1 地球温暖化への配慮									
				LCCO2=97%	3.1	0.33	-	-	3.1
2 地域環境への配慮									
2.1 大気汚染防止	W				3.0	0.33	-	-	3.0
2.2 温熱環境悪化の改善	W	G	S		3.0	0.25	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.50	-	-	
1 雨水排水負荷低減	W				3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制					-	-	-	-	
3 交通負荷抑制					3.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	W		S		3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮									
3.1 騒音・振動・悪臭の防止									
1 騒音					3.2	0.33	-	-	3.2
2 振動					3.0	0.40	-	-	
3 悪臭					3.0	1.00	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制									
1 風害の抑制					-	-	-	-	
2 砂塵の抑制					3.0	0.40	-	-	
3 日照障害の抑制					3.0	0.70	-	-	
3.3 光害の抑制									
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				光害対策ガイドラインチェックリストの過半を満たす、配慮事項の過半を満たす	3.0	0.30	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					4.4	0.20	-	-	
					5.0	0.70	-	-	
					3.0	0.30	-	-	